



2023年6月20日

各 位

会 社 名 AZ-COM丸和ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 和佐見 勝
(コード番号:9090 東証プライム市場)
問合せ先 取締役専務執行役員経営管理グループ長
葛野 正直
(TEL 048-991-1000)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目的として、2022年度における取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

社外役員を含む全ての取締役及び監査役に対し、取締役会の実効性に関する評価の主旨を説明の上、匿名性と透明性を確保するため、外部機関によるWebアンケートでの調査、回収、集計、分析を行いました。なお、質問につきましては、以下の項目に関して評点及びフリーコメントによる方法で実施いたしました。

【主な質問項目】

- ◆取締役会の構成に関する質問
- ◆取締役会の運営に関する質問
- ◆取締役会の議論に関する質問
- ◆取締役会のモニタリング機能に関する質問
- ◆社内外取締役のパフォーマンスに関する質問
- ◆取締役・監査役に対する支援体制に関する質問
- ◆トレーニングに関する質問
- ◆株主との対話に関する質問
- ◆委員会の運営に関する質問

2. 評価結果の概要

分析の結果、取締役会における社外役員の構成や運営体制、SDGsへの取組みに対するフィードバック、取締役・監査役への支援体制等について改善が見られるとともに、質問項目全般にわたって概ね適切であることが確認され、取締役会の実効性は確保されているとの評価結果となりました。

一方で、当社は2022年10月1日付で純粋持株会社へ移行したものの、グループ全体に関する潜在的なリスクに係る危機管理体制の認識が不十分であること、前年度評価において課題認識しました積極的なDXの導入による業務生産性革新と価値創出に関する議論並びに任意の常任委員会における諮問内容及び構成委員の運営体制見直しについては、改善を進めておりますが、更なる改善の余地があるとの認識に至りました。

3. 実効性向上に向けた今後の取り組み

当社取締役会は、今回の評価結果と取り組むべき課題を踏まえ、取締役会での議論を更に充実させることにより実効性確保に努めるとともに、今後も継続して取締役会の実効性評価を実施し、更なる企業価値の向上を目指してまいります。

以上